



サステナブルキャンパス国際シンポジウム 2015 の開催について（お知らせ）

開催趣旨：サステナビリティ・ウィークの一環として行われるサステナブルキャンパス国際シンポジウムは 2011 年から始まり、今回で 5 回目を迎えます。昨年は、「サステナブルキャンパス構築のための思想と実践—大学にとって『地域』とは—」と題し、地域社会と大学が関わり合うことで、持続可能な社会づくりに大学がどのように貢献できるのか、多くの事例が示されました。

大学キャンパスは、社会的学習の場という新しい役割を持ち始めています。実社会の課題を解決しようとするサステナビリティ学の教育プログラムに取り組む大学は、専門分野の異なる教員の知識、学生のアイデア、社会のニーズを統合させ、大学を“象牙の塔”から社会に開かれた場へと、どんどん進化させています。この進化を起こす鍵となるものは何でしょうか？大学全体を巻き込み、動かしていく秘訣があるのでしょうか？

今年のシンポジウムでは、全学を巻き込むチーム・ビルディングの方法、サステナビリティ・オフィスの役割、トップコミットメントとボトムアップの双方向の戦略について議論します。マサチューセッツ工科大学（アメリカ）、ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）、国内からはキャンパスマネジメントのトップランナーである名古屋大学、計 3 大学からゲストスピーカーをお招きします。

日程：平成 27 年 12 月 3 日（木）13 時 30 分～18 時 05 分（開場 13 時 00 分）

場所：北海道大学学術交流会館 大講堂（札幌市北区北 8 西 5）

主催：北海道大学サステナブルキャンパス推進本部・施設部

参加費：無料

言語：日本語・英語（同時通訳あり）

プログラム：

持続可能な社会実現のためのチーム・ビルディング

—世界の課題に取り組む大学の新たな組織づくりとサステナビリティ・オフィスの役割

(1) 開会挨拶

13:30～13:35 北海道大学施設部長 佐々木 力

(2) 来賓挨拶

13:35～13:45 文部科学省 技術参事官 新保 幸一

(3) 趣旨説明

13:45～14:00 北海道大学大学院工学研究院 准教授 小篠 隆生

(4) 基調講演

14:00～14:50 マサチューセッツ工科大学 ジュリー ニューマン博士

14:50～15:40 ブリティッシュコロンビア大学 ジェームス タンシー教授

15:40～15:55 休憩 (15分)

15:55～16:45 名古屋大学施設・環境計画推進室 田中 英紀特任教授

(5) 16:45～18:00 パネルディスカッション

「世界の課題解決と持続可能な社会構築に向けた大学の体制

—札幌サステナビリティ宣言 (G8 大学サミット, 2008 年) 以後の北海道大学の取組」

● 司会 吉見 宏 (北海道大学大学院経済学研究科教授・経済学研究科長)

● パネリスト

ジュリー ニューマン (マサチューセッツ工科大学博士)

ジェームス タンシー (ブリティッシュコロンビア大学教授)

田中 英紀 (名古屋大学特任教授)

佐藤 博 (札幌市市長政策室, 政策推進担当部長)

三上 隆 (北海道大学理事・副学長)

川端 和重 (北海道大学理事・副学長)

小篠 隆生 (北海道大学大学院工学研究院准教授)

● 情報提供者

武村 理雪 (北海道大学国際本部シニア・コーディネーター)

(6) 閉会挨拶 18:00～18:05 北海道大学理事・副学長 三上 隆

申し込み期間・方法：

以下のホームページから、11月26日(木)までにお申し込みください。

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2015/sc-sympo/>

基調講演者経歴

○Dr. Julie Newman (ジュリー ニューマン博士)

マサチューセッツ工科大学サステナビリティ・オフィス ディレクター

“意思決定プロセスと高等教育機関におけるサステナビリティに向けた組織づくりの関係”に焦点を当てた研究と、“持続可能な発展・キャンパスの持続性”に関わる大学運営を20年間に亘り行っている。2004年にはアメリカ北東部の大学間で、“持続可能な社会に向けた大学コンソーシアム”を共同で設立している。

イェール大学でサステナブルキャンパスの取り組みを長きに亘りけん引した後、2013年、MITのサステナビリティ・オフィスの創設に伴い、最初のディレクターに就任し、キャンパスの施設設備や運営に留まらず、ケンブリッジ市やボストン市とのパートナーシップ

による周辺地域を巻き込んだ社会実験の場としてのキャンパス作りに尽力している。



○Prof. James Tansey (ジェームス タンシー教授)

ブリティッシュコロンビア大学サウダービジネススクール ディレクター

ブリティッシュコロンビア大学のサウダービジネススクールの教授であり、また、the Sauder Centre for Social Innovation and Impact Investing (SauderS3i) 及び Research Centre at the Sauder School of Business dedicated to social innovation and sustainability の事務局長でもある。

タンシー教授は、幹細胞やバイオバンクのような新技術が与える社会の影響とその受容性を研究テーマとしており、特に産業社会のガバナンスにおける公開協議の役割、産業エコロジー、シナリオ分析と気候変動について多くの研究実績を持つ。近年の研究においては排出権取引、インパクト投資と社会イノベーションのための国際的な新興市場に焦点を当てている。

2010年にBusiness in Vancouver 新聞で40歳以下のトップ40人の中の1人として選ばれ、Pacific finalist in the Ernst and Young Entrepreneur of the Year の受賞を受け、さらに2013年にもブリティッシュコロンビア州への貢献を評価され、Queen's Diamond Jubilee Medal を授与されている。



○田中 英紀 特任教授

名古屋大学施設・環境計画推進室

2014年4月に名古屋大学施設・環境計画推進室、エネルギー・マネジメント部門の特任教授に就任。名古屋大学で博士（工学）を修めている。研究分野は建築・都市設備の省エネや再生可能エネルギー利用等である。名古屋大学は2015年に日本建築学会の日本建築学会賞（業績部門）を受賞しており、低炭素エコキャンパス実現のためのエネルギーマネジメントとコミッションングにおいて田中特任教授はこの業績に大きく貢献している。

また、“家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの計画・設計に関する研究：その1 予備性能解析とガスエンジンシステムとのエネルギー性能比較（環境工学）”では、日本建築学会東海賞（論文賞）を受賞している。



お問い合わせ先

北海道大学施設部環境配慮促進課サステナブルキャンパス推進本部担当 大野

TEL : 011-706-3660 FAX : 011-706-4884 E-mail : osc@osc.hokudai.ac.jp

持続可能な社会実現のための チーム・ビルディング

世界の課題に取り組む大学の新たな組織づくりとサステナビリティ・オフィスの役割

Team building toward a sustainable future

New university regime for global issues and the role of a sustainable campus office

2015.12.3 Thu

13:30-18:05 Open 13:00

会場 北海道大学 学術交流会館 講堂
Conference Hall, Hokkaido University, Sapporo, Japan

同時通訳有

Open to public with simultaneous translation

| 主催 | 北海道大学サステイナブルキャンパス推進本部, 施設部
| 共催 | 一般社団法人国立大学協会
| 協力 | サステイナブルキャンパス推進協議会 (CAS-Net Japan)
| 後援 | 北海道, 札幌市, 日本建築学会北海道支部



ジュリー ニューマン 博士
マサチューセッツ工科大学
サステイナビリティ・オフィス
ディレクター
Dr. Julie Newman,
Massachusetts Institute of
Technology, US



ジェームス タンシー 教授
ブリティッシュコロンビア大学
サウダービジネススクール
ディレクター
Prof. James Tansey,
University of British Columbia,
Canada



田中 英紀 特任教授
名古屋大学
施設・環境計画推進室
Prof. Hideki Tanaka,
Nagoya University

program

13:30-14:00 開会挨拶

14:00-16:45 基調講演

16:45-18:00 パネルディスカッション

「世界の課題解決と持続可能な社会構築に向けた大学の体制
—札幌サステナビリティ宣言 (G8 大学サミット, 2008 年) 以後の北海道大学の取組」

◆司会

吉見 宏 (北海道大学経済学研究科 教授, 経済学研究科長)

◆パネリスト

ジュリー ニューマン (マサチューセッツ工科大学 ディレクター)

ジェームス タンシー (ブリティッシュコロンビア大学 教授)

田中 英紀 (名古屋大学 特任教授)

佐藤 博 (札幌市長政策室 政策推進担当部長)

三上 隆 (北海道大学 理事, 副学長)

川端 和重 (北海道大学 理事, 副学長)

武村 理雪 (北海道大学国際本部 シニア・コーディネーター)

小篠 隆生 (北海道大学工学研究院 准教授)

19:00-21:00 レセプション

大学キャンパスは、社会的学習の場という新しい役割を持ち始めています。実社会の課題を解決しようとするサステナビリティ学の教育プログラムに取り組む大学は、専門分野の異なる教員の知識、学生のアイデア、社会のニーズを統合させ、大学を社会に開かれた場へとどんどん進化させています。

この進化を起こす鍵となるものは何でしょうか? 多様なメンバーを巻き込み、チームをつくり、動かしていくためのアイデアを見つけ、共有しましょう。

13:30-14:00 Opening Remarks

14:00-16:45 Keynote speech

16:45-18:00 Panel Discussion

“University regime for global issues and sustainable solutions:

— What has Hokkaido University done since Sapporo Sustainability Declaration in 2008?”

◆ Moderator

Prof. Yoshimi Hiroshi, Dean of Faculty of Economics, Hokkaido University

◆ Panelists

Dr. Julie Newman, Massachusetts Institute of Technology, US

Prof. James Tansey, University of British Columbia, Canada

Prof. Hideki Tanaka, Nagoya University

Mr. Hiroshi Satoh, Director, Mayor's Policy Planning Office, City of Sapporo

Prof. Takashi Mikami, Vice President and Executive of Hokkaido University

Prof. Kazushige Kawabata, Vice President and Executive of Hokkaido University

Ms. Riyuki Takemura, Senior Coordinator, Office of Int'l Affairs, Hokkaido University

Assoc. Prof. Takao Ozasa, Faculty of Engineering, Hokkaido University

19:00-21:00 Reception dinner

A university campus is transforming to be an important place for social learning. Problem based learning programs in sustainability science consolidate the knowledge of faculty, the ideas of students, and the needs of the society. The transformation of an entire university from an ivory tower is essential for our sustainable future.

Then, what's the key of this transformation? Let's learn about it and share for moving the whole of university.